



CONTENTS

- 世界の流れから取り残される日本
- ・思春期セミナーⅢに参加して
- ・オフタイム 可愛い家族



Muraguchi Kiyo Women's Clinic

世界の流れから取り残される日本 ~子宮頸がんワクチン接種の再開を願って~

院長 村口喜代 2006年人類史上初のがん予防ワクチンとして子宮頸がんワクチンは開発された。現在世界140か国で導入されており、WHOも接種を強く推奨している。日本では、毎年子宮頸がんで約3,000人が死亡、約10,000人が子宮を失い、約13,200人が前がん状態のため円錐切除術を受けている。特に20~30代の女性では過去10年間で子宮頸がん(進行がん)が3倍に増加している。子宮頸がんワクチンの効果が科学的にも検証されているにもかかわらず、日本ではワクチン使用の行方は五里霧中・頓挫したままである。2013年4月子宮頸がんワクチンを定期接種化(中学1年から高校1年相当の女子)したが、

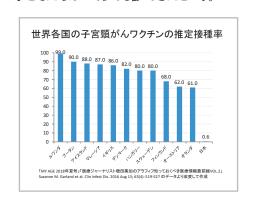
接種後に全身の痛みやしびれを訴える例が報告され、わずか2か月後の6月に、厚労省は定期接種を定めたまま、「一時的に積極的接種勧奨を停止する」という決定を下した。2016年には国とワクチン製造企業2社に対する集団提訴、国家賠償請求訴訟へと発展した。こうした事態は世界には全く例のないことである。当初72%に達した接種率は限りなく0%近くまで激減した。当院でも2014年以降全くワクチンの接種はない。

先日、「10 万個の子宮」(あの激しいけいれんは子宮頸がんワクチンの副反応なのか)という本でジョン・マドックス賞を日本人初の受賞(2017 年 11 月)した村中璃子氏(医師、ジャーナリスト)の講演を聴いた。今の日本の状況を何とかしなければと気持ちを突き動かされた。何故「10 万個の子宮」なのか、それは子宮頸がんワクチンによる被害に対する国家賠償請求訴訟が終わるまでは 10 年を要すると言われ、その間に子宮頸がんのために摘出される子宮が 10 万個と計算されるからである。同賞は世界で最も権威ある科学誌「ネイチャー」などが主催している。ネイチャーの編集長を22年間務めたジョン・マドックスの名を冠した同賞は、困難や敵意に遭いながらも、公共の利益のためサイエンスを世に広めた人物に与えられるものである。子宮頸がんワクチン接種がほとんど止まってしまった日本に対する世界のサイエンス側からの厳しい警告といえる。

厚労省・予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会は、ワクチン接種後の問題とされた症状は「身体表現性障害(身体的な 異常はないのに、痛みや恐怖、不安などがきっかけに生じる身体の症状)」の可能性が高いという見解を発表(2014 年)した。 小児科医や精神科医によれば、同ワクチンが導入される前からこの年齢のこういう症状の子どもたちはいくらでも診てきたという。

2015 年 9 月、同検討部会は、「ワクチンによる重篤な副反応の多くは心的なものが引き起こす身体の症状」との見解に立ちながらも、なぜか「接種勧奨の一時的差し控え」の判断も継続したのである。全く閉塞状態の日本社会の闇をどうしたらいいのだろうか。

日本の政策判断は WHO からも過去 3 回、 名指しの批判を受けている。 WHO も子宮頸がんワクチン接種を強く推奨しており、 その有効性・安全性については科学的議論の余地がないと言っている。 何とか、 日本の今の状況を変えなければと強く思う。 (子宮頸がんワクチンに関する記事:きよクリ 10,23,31 号)



思春期保健セミナーⅢに参加して

~思春期保健相談士資格を取得できました~

看護師 畑山 早苗



思春期保健相談士の資格を得るために一昨年から2回にわたり、東京で開催された思春期セミナーⅠ、Ⅱに参加してきました。そして今年1月、3回目となる最終段階、成田にて思春期保健セミナーⅢに2泊3日で参加してきました。

まずは避妊についての講義。 最近は残念なことに虐待児死亡のニュースを目にすることが多くなりました。 虐待児死亡を引き起こした母親の背景には、 望まない妊娠(計画していない妊娠)や若年出産が多いという話を聞きました。 確実な避妊法は児童虐待防止につながり、 若い頃か

ら避妊のことや家族計画を考えることは大切で、そのことを家族で話せる関係の構築が思春期には必要と感じました。 また、 友達にも家族にも話せない悩みを話せる場を作ってあげることもクリニックの役割であると再認識できました。

講義以外の時間では、6グループに別れてテーマごとに最終日に発表する課題があり、人見知りの私がうまくなじめるかとても不安でした。私は思春期の問題行動のグループで「万引き」をテーマとして2日間かけて事例を考えました。2歳の子が買い物でお菓子を会計せずに持ってきてしまい、それに対する親の行動によって、中学生になってからの行動の違いをストーリー化して発表しました。

立場や職業の違う6人で話し合って、意見を聞くことがとても新鮮で、いつのまにか不安も吹き飛んで楽しくなっていきました。進んでいくにつれて刺激しあえる関係が築け、最後にはそれぞれの仕事や私生活の情報交換をしたり、講義だけでは学べないことも経験でき参加できてよかったと心から思っています。違う職種との関わりがこんなにも身になるものだと思っていなかったので、貴重な経験ができました。そして、無事に思春期保健相談士の資格を頂くことができました。セミナー I、II から1年間空いての参加でしたが、その間の仕事での経験を踏まえて講義が聞けたり、経験を話すことができたりとより濃く学べたと感じています。

私のオフタイム ~可愛い家族~

家の近くの公園で出会った左前足がなく傷を負った茶トラのオス猫。 出会って 約5年、 飼えないからとご飯をあげに行く毎日。 去年1月の大寒波、 雪で 身動きとれなくなったその子は生きるために家までついてきました。 そして我が家 へ来て1年。 今まで辛かった分、 幸せに一緒に過ごしていきたいです。

看護師 畑山 早苗



臨時休診

○ GW は 4 月 28 日から 5 月 6 日まで休診と なりますのでご了承ください。



編集後記

入学・進級・就職など 4 月は新しいことが始まる季節ですね。 みなさまはどんな春をお迎えでしょうか。

温かい風を感じながら、満開の桜見物が楽しみです 🙂



発行元:村口きよ女性クリニック http://www.muraguchikiyo-wclinic.or.jp e-mail:con@muraguchikiyo-wclinic.or.jp